

KANAGAWA HOHYUH CLUB
神奈川県放友会
Newsletter



Vol. 3 No.1 Jan. 2010
第9号

神奈川県放友会

〒231-0033 横浜市中区長者町4丁目9番地
ストーク伊勢佐木1番館504号

TEL 045 681 7573 FAX 045 681 7578

発行人 長谷川 武

発行日 2010年1月5日

[巻頭言]

50年来秘めていた「医療技師」制度構築の「初夢」

神奈川県放友会会長 長谷川 武

昨年の9月16日民主党政権が誕生し、鳩山由紀夫内閣によってすさまじい勢いで政策の見直しが展開され、次々と新しい取り組みが進んでおり、規制の事実も見直しが余儀なく迫られることとなり、旧態依然とした対応では世の中はついて行けなくなっている。

医療界を見ても日本医師会の自民党支援から、医師会長の交代によって民主党支援に変わろうとしている。参議院候補の歯科医師会においても民主党公認候補を模索しているのが現状である。更には中医協の日本医師会理事の定座も、地方医師会委員に交代となった。「聖域」なき中医協人事が行なわれたのである。政権交代によって日本は新しい時代感覚を迎え、改革が進められている。

我々の医療業務も、大きな見直しが必要なのではなかろうか。旧態依然とした流れを温存しては、診療放射線技師としての職業の存在すら危ぶまれるので、新しい発想が求められているのではないかと思う。

薬剤師が6年制教育になり直接臨床の現場に出て、病棟や外来で患者と直に対処しはじめている。また、看護師は患者の診察をも可能にし、医師の不足や業務軽減の対策として看護業務の拡大が模索されており、その可能性が目前まで来ている。

国民は日本を変えてくれ。医療制度を見直してくれ。・・・と叫んでいる。

一方、診療放射線技師はというと、医療・医学を学んでいないと厚生労働省から評価され、介護制度におけるケアマネージャ受験の医療人優先資格も無く、制度の上で医療人として認識されていない。これでは医療で働く力が湧いてこない。我々関連の法律を見直して、法的に医療人である評価を得られるよう、組織の活動がこれまでいよいよ必要なのだと考えている。

臨床検査技師においても同じ認識だと思う。両者が融合して、医療従事者の一角を担う夢を見た。

技師会・関連学会等においては「専門技師認定制」が横行しているが、もう一歩考えて欲しいと願っている。

コ・メディカルは医療制度的には、国家資格で専門性をうたって独立をしているかに見えるが、医療の組織形態からは拡散エネルギーであって、医師会の圧力によって技師職の身分制度は低く抑えられ追いやられており、医療人とも評価されない国家資格で、医療を担っている

のが現状であろう。見直しが必要なのは医師の数や報酬に限らず、技師など高い技術をもつ医療技師を含めて、病院組織機能が評価されるべきものであろう。

したがって、拡散を融合に変えて、医療技術者を法的制度において改善する必要があると思う。

融合による「医療技師」としてのパワーを向上させ、その知識と技術を活用して、医療スタッフの4本柱として貢献できる制度が必要なのです。コ・メディカルの専門分野の資格制度を見直して、例えば、名称を一本化した「医療技師」制度とし、医療技師の高等教育を経て法的に医療人である評価をして、医療の知識・技術の専門職として国民医療のサービスを向上させ、患者さん国民からの信頼を得ることが望ましいのです。

医療の担い手を、医師・歯科医師、看護師、薬剤師、医療技師の四本柱として構築し担当するのが、国民医療のサービスに繋がると信じます。

「一本化した医療技師の国家資格」の基で、医療全般を学び医療人として法的に評価・認識されて、更に専門分野を極めて、臨床検査・治療技術部門での技師会や学会または認定機構の「専門技師認定」を得ればよい。

国家資格は「医療技師」免許で、現状の放射線や臨床検査部門で活躍すればよい。

医師の専門医制度を導入すべきで、現在の医療技師の分裂のような国家資格は、医療技師のパワーを低下させ業務制限させるものであり、むしろ融合した医療技師制度による技師のパワーを活用するほうが、医療の基本をわきまえた国民医療の担い手と成り得ると思う。

医療人材の不足を解消するためにも、新しい「医療技師」制度の導入構築が望ましい。勿論のこの「医療技師」にも教育はより大切で、法律が認める医療人としての教育制度が必要です。

医療技師の知識・技術サービスが、国民医療を向上させ患者サービスの良き担い手となると信じます。

民主党政権の改革精神を、医療技師制度にも適用したい。初夢ではなく、叶える努力・活動が必要であろう。

日本放射線技師会のテーマであり、「21世紀の医療を考える会」のテーマであって欲しいものだ。

「ひとりで見る夢はただの夢

みんなで見る夢は実現する」

〔報告〕 「総合防災センター見学と伊勢原大山巡り」の報告

日時：平成21年10月18日（日）9：00～16：00
 見学先：(1)神奈川県総合防災センター (2)伊勢原大山（阿夫利神社下社参拝）
 行程：愛甲石田 → 総合防災センター → ニュー天野屋（食事・入浴） → 大山ケーブル（停留所）
 → 大山参道 → 大山ケーブル駅 → 阿夫利神社 → 大山ケーブル(停留所) → 伊勢原駅
 参加者：15名（男性：13 女性：2）・・・・・・ 秋晴れの日を堪能した・・・・・・



総合防災センター

- ・展示見学
- ・広場では
チアダンス
ロープ降下
渡過訓練
ボディスラップ
ドリル演技
消防車
救急車試乗
防災用品の
展示販売
- ・体験コーナー
等



かながわ防災フェア 2009 が開催されており、広場は大変に賑わっていた。天気は良くて、天高く快晴でした。防災センター内の展示見学と地震災害の映画を鑑賞し、広場での防災フェアを見学した。



昼食と入浴(ニュー天野屋)

伊勢原温泉は丹沢大山国定公園山麓に位置し、国宝日向薬師をはじめ大山阿夫利神社や太田道灌の墓など名勝古跡の多い所である。

その一角のニュー天野屋にて、ゆっくりと昼食を楽しみ入浴を楽しんだ。

天然温泉が好評であった。



神奈川放友会の発展を祈願

大山阿夫利神社 創建は紀元前 97 年崇神天皇のころと伝えられる。大山祇大神、大雷神、高おかみの神の三神を祀る。本社は山頂にあり、中腹に下社がある。神威炳焉、生活の資源は勿論のこと、海運、漁獲、農産、商工業また酒解神と称し酒造の祖神として御霊徳高く、丹精を籠めて祈願すれば「諸願一つとして成就しないことはない」と言う。

ヘリコバクターピロリ菌

神奈川県労働衛生福祉協会 石 渡 良 徳

はじめに

日本の胃がん検診は、死亡率減少効果の有無を判断する証拠があるとして、胃X線検査を現行の検査法として採用しているが、その他のスクリーニング法としてヘリコバクターピロリ抗体、ペプシノゲン法、胃内視鏡などが目的によって行なわれている。今回はその中のヘリコバクターピロリ菌についてレポートする。

ピロリ菌の遺伝子

人類は約5千前にユーラシア大陸から台湾を経て南太平洋の島々に移り住んでいたらしい、といわれている。

それを裏付ける理由の一つに、人の胃に寄生すると胃がんなどの原因になると考えられているヘリコバクターピロリ菌(以下ピロリ菌)の遺伝子だと解析するものと、南太平洋の400の言語の解析から判明した、という異なる方法についての両者の論文がアメリカの科学誌サイエンスに同時掲載された。

それによると、まずドイツのマックスプランク研究所などからなる国際グループは、台湾、オーストラリア、ポリネシアなどの原住民のピロリ菌の遺伝子を解析し、胃の粘膜や胃液からピロリ菌を分離・培養して7つの遺伝子の変異を調べた。

地域的に離れている生物集団では長い間に遺伝的な違いがでてくることに注目して、その生物の遺伝子の変異の程度の分布から、集団がいつごろどこで分かれたかを推定した。

ピロリ菌遺伝子は人間の遺伝子より変異が早いことから、人間の遺伝子の解析では差が出ないが比較的最近の集団の違いもピロリ菌の変異で追うことができる、としている。

その結果、約5千年前、台湾から大海原に出てフィリッピンを経てニュージーランドやポリネシアなどに渡った人たちがいたことがわかった。

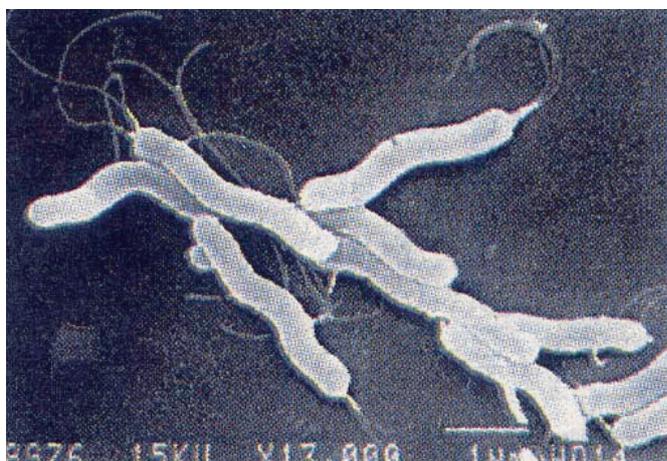
また、約3万1千年前にも、氷河期の海面低下で陸続きになった島伝いにニュージーニア、オーストラリアなどへ渡った先行グループがあったこともわかった。

一方、ニュージーランドはオークランド大学のグループは、南太平洋に伝わる言語の特徴の解析から、やはり約5千年前に台湾ルートによる住民があったことを明らかにした。

ピロリ菌の正体

ピロリ菌が発見されたのは1983年と言われている。

ピロリ菌は、大きさ千分の四割ほどのらせん形にねじれた棒状の形をした細菌であり、鞭毛で移動しながら胃



ピロリ菌 らせん形にねじれた棒状の細菌

の粘膜を覆う粘膜に潜り込んで永年に亘って住み着く習性がある。

胃の中には強い酸性で細菌は繁殖できないと考えられていたが、このピロリ菌は胃酸を中和する酵素を持ち自らの身を守っている。

ピロリ菌の測定方法

ピロリ菌を測定する方法には、胃内視鏡検査によって採集された生検の材料に基づいて行なう迅速ウレアーゼ法、鏡検法、培養法などがある。

また、生検材料を必要としない測定には血液や尿中の抗体測定、尿素呼気テスト、便中抗原があるが、検診として利用される可能性の高いのは血清や尿中の抗体測定、便中抗原である。

われわれの施設では、胃の精密検査時に行なわれる内視鏡において、胃あるいは十二指腸の組織を生検鉗子で採集して行なう方法をとっている。

通常胃体部大弯と幽門前庭部大弯の二ヶ所から検体採取を行なうことが勧められており、腸上皮化生にはピロリ菌が定着しないため、内視鏡的に腸上皮化生を認めた場合はこれを避けて生検を行なうことにしている。

ただし、脳梗塞や心筋梗塞などの既往によりワルファリンやアスピリンなどの抗凝固療法を受けている患者には禁忌であり、検査前の問診と説明が不可欠である。

ピロリ菌と胃がんのメカニズム

日本の国民の約半数が感染されていると言われるピロリ菌は、中年ほど感染率が高く、衛生状態が悪くなかった時代に抵抗力の弱い子供が感染したとみられている。

ピロリ菌により持続的な胃粘膜の炎症が引き起こされ、消化性潰瘍や胃がんの発病とも関連していることが明らかになってきた。

ピロリ菌に感染すると胃の粘膜が傷つけられ慢性胃炎になり、さらに胃の粘膜が薄くなる萎縮性胃炎、さらに腸上皮化生になる。これが続くと胃がんを発生しやすくなると言われている。

胃に住み着くピロリ菌が胃がんをつくる仕組みについて、京都大学院医学研究科のグループが解明した、と平成19年4月の朝日新聞に報じられた。

それによると、本来は免疫細胞にしかないはずの酵素がピロリ菌の刺激で現れ、誤作動することががんの引き金になっているという。

ピロリ菌は胃粘膜の細胞の間に潜り込んで胃炎を起こし、さらに症状が進むと胃がんを起こす可能性が指摘されているが、ピロリ菌が感染した場合に胃粘膜の細胞ではその遺伝子の一部に突然変異が起きていることが分かっており、それが起こる仕組みについての追求に期待されていただけに、これまで知られていなかった新たな発がんメカニズムの解明として注目されている。

炎症で遺伝子が傷つく仕組みとしては活性酸素などが考えられていたが、今回ははつきり遺伝子を変異させる酵素が特定されており、十分な説得力がある。

ピロリ菌やC型肝炎ウイルスの感染で炎症が起き、それが引き金となって免疫細胞にしかないはずのAIDという酵素が作られて細胞の遺伝子に突然変異を起こし、がん化につながると思われる。さらに詳しい発がんのメカニズムを調べて予防や治療に役立てたいと同グループはコメントしている。

ピロリ菌除菌の効果

胃の粘膜に生息するピロリ菌を除菌すると胃がんの発生が3分の1になると言われている。胃がんの予防目的の除菌は現在公的医療保険の適用外となっているが、胃潰瘍や十二指腸潰瘍などの治療には適用されている。

除菌は、標準的に胃酸の分泌を抑える薬と、2種類の抗生物質の3種類の薬を朝晩に一週間飲むことで可能となる。

平17年7月1日、胃がんの前がん状態でも胃の中のピロリ菌を除菌することによって進行を抑える状態を改善する効果があったとした研究結果を、厚生労働省の研究班がまとめて日本ヘリコバクター学会で発表した。

主任研究者の斉藤大三国立がんセンター中央病院内視鏡部長は、胃がんへ進む前の状態と考えられていたこれらの慢性胃炎になった患者(96~04年に登録されて全国20~59歳のピロリ菌感染者で4年以上経過した392人)について、抗生物質を飲んで除菌するグループと除菌しないグループに無作為に分けて平均5.3年にわたって症状を追跡した。

患部の細胞を採取して調べた結果、胃の下部の萎縮性胃炎で状態が改善した割合は、除菌しなかった116人で17人(15%)に対して、除菌した116人では72人(62%)

だった。

胃の上部や中部の萎縮性胃炎、腸上皮化生を含めすべて除菌した人の方が29~47ポイント改善率が高かった。効果は性別や年齢に関係なくみられた。

ピロリ菌元凶説はかなり広まっているが、科学的根拠は必ずしも十分ではなかった。今回の研究は最終的な胃がんの発生頻度まで調べたものでないが、厳密な研究でピロリ菌除菌が胃がんへの進行制御効果を持つらしいことを示した点で画期的なものであった。

ピロリ菌とノーベル賞

スウェーデンのカロリンスカ医科大学は、1995年10月に今年のノーベル医学生理学賞をオーストラリアのラリー・マーシャル西オーストラリア大学教授と病理専門医のロビン・ウォーレン博士に送った。

ピロリ菌が胃炎や胃・十二指腸潰瘍の発生に深く関与していることを突き止めたことが評価されてのことだった。

豪州の王位パース病院の病理医だったウォーレン博士は、79年胃炎患者の粘膜に小さな曲がった未知の細菌(ピロリ菌)がいることを見つけた。

マーシャル教授との共同研究でさらに100人の患者の組織を調べた結果、胃炎や胃・十二指腸潰瘍を患っているほとんどすべての患者でピロリ菌を確認した。

試行錯誤の末に82年には分離培養に成功、マーシャル教授自身が菌を飲んで実験して急性胃炎がおこることを確かめた。

この発見までは強い酸性の胃液がある胃の中では、細菌は生息しにくいと考えられていた。消化器潰瘍などはストレスと生活習慣が主たる原因と考えられていたが、除菌が再発を臨床的に証明した。

このお陰で消化器性潰瘍は、抗生物質と胃酸の分泌を抑える薬を組み合わせた短期間の治療で済む病気になった。

慢性疾患を微生物が引き起こしているという発見は、他の多くの病気のメカニズムを解明する手掛りにもなった。

消化器性潰瘍など慢性疾患を引き起こすピロリ菌の発見と治療方法などの臨床的見地から胃がんの予防の可能



ロビン・ウォーレン博士



ラリー・マーシャル博士

性を示したことは、ノーベル医学生理学賞の受賞が決まった二人の貢献である。

さらなる研究をめぐる

胃の粘膜にヘリコバクターピロリ菌がいると胃がんになるリスクが高まることの研究が進み、ピロリ菌の感染が胃がんの発生に強く関連していることが分かった。

平成17年に示された「有効性評価に基づく胃がん検診ガイドライン」によると、最近の研究では、非感染者に比べて感染者の胃がんリスクは約6倍高いと推定されている。幼少時の生活環境の改善に伴って若い世代ほどピロリ菌の感染率は減少しており、今後も胃がんの罹患率は減少することが予測される、とされている。

さらに研究が進み平成18年には厚生労働省の疫学調査によると、全国の4万人を対象に調べた結果、感染したことのある人は全く感染したことのない人に比べ、胃がんになるリスクは10倍になることが分かったと発表している。

また最近では、東北大学のチームにより治療法のない特殊症例の糖尿病がピロリ菌を除菌することで完治したなどの消化性疾患以外の疾患についても成功例を発表している。

確立した治療法がない特殊なタイプの糖尿病患者を、胃の中にあるピロリ菌を除去するだけで完治させること

に成功させたのは、東北大学医学系研究科のチームによるものであった。

胃潰瘍や胃がんの原因の一つとされているピロリ菌は、一般に糖尿病には関係ないと見られていた。患者の一人が血糖値を下げるインスリンの動きを妨害する抗体を自分で作ってしまう「B型インスリン抵抗症」という糖尿病を発症した。

ピロリ菌が見つかり投薬して除菌した結果、4ヶ月ほどで抗体が消え、糖尿病の指標も正常になり一年後も症状は現れず完治と判断された。

イギリスの医学雑誌ランセットに発表したチームの片桐教授は「この特殊な糖尿病は数万～数千人に一人と推定されるが、根治の治療法になれば福音だ」としている。

終わりに

このように、ピロリ菌に関する様々な研究と、くじ引きで決める無作為化比較試験などの研究が各方面で行われ、データの蓄積により着々と解明が進んできている。

しかし、胃がん検診に関しては有効性を示唆する直接的な証拠が無いため、現行のヘリコバクターピロリ抗体は、死亡率減少効果の有無を判断する証拠が不十分であるとして、学会に示された推奨レベルは「マイナス2」とされている。

中央社会保険医療協議会専門委員就任にあたって北村会長がコメント

「チーム医療推進協議会」での挨拶より

[JART 情報 Network Now No.407(11.15.2009)] より転載

近年、医療の現場では、一人の患者を多くの職種が全人的に評価してアプローチしていく「チーム医療」という概念が定着していると思っています。ただ、チーム医療を成功させるためには、診療現場で患者と医師をつなぐ役割、それから、闘病中の患者の心のケアをサポートする役割、これらをもつ専門的な医療職種の存在が不可欠です。こうした医療職種のすべてが、さまざまな場面で資質向上に努めていることは間違いありません。

私たちコメディカルの多くが「医師、歯科医師、看護師等」と、さまざまな法律に「等」ということで書かれています。「等」ということでは、一般国民に分かっていただけないと思っています。実際の現場ではチーム医療ではなく医療チームになっていると思います。その違いは、「医師以外の職種がどれだけ発言できているか」ということです。医師以外の職種も意見が言えるよう、資質向上を図っていかねばいけ

ないと思っています。

コメディカルという言葉がありますが、それは「医師」と「医師以外」を示すものと思います。私たちは、チーム医療の概念に合わせて、医師を含む形の「コメディカルスタッフ」という言葉を提言していきたいと考えています。

今回、病院で働く医療専門職団体と患者会が結集してのチーム医療推進協議会発足が評価され、厚生労働省政務官から「コメディカルの代表として中医協の専門委員に就任いただきたい」との連絡がありました。

今後、日本放射線技師会はもちろん、医療従事者全体と患者にとってより良い医療の提供に向け、進んでいきたいと思っています。

中医協委員人事

日本放射線技師会より専門委員就任を発表

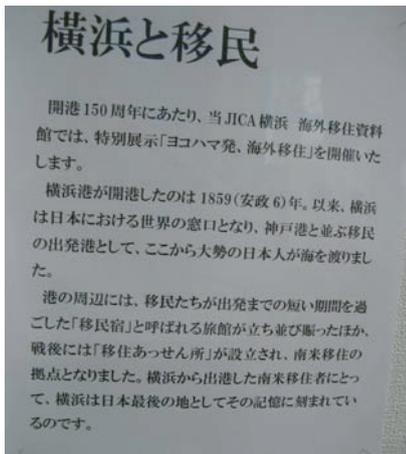
横浜開港150年と海外移住

小松崎 真一

はじめに

とてつもないテーマをどの様に書いたら良いか戸惑いを感じます。横浜開港 150 年記念期間中の 2009.6.17 JICA横浜海外移住資料館を訪れました。

横浜開港 150 年の歴史と海外移住が、どう繋がっているのでしょうか？ 調べて見たので紹介します。



特別展示
ヨコハマ発
海外移住



(この船の写真は移住と関係ありません)

日本国中みんな海外に行けると大騒ぎだったようです。横浜には支援する施設などがあり日本の移住拠点の役割を果たしていました。同時に神戸港もその拠点だったそうです。

このように横浜と神戸が日本移住の拠点だったとは最近まで知りませんでした。

JICA横浜 海外移住資料館

当時政府の機関として海外移住事業を行っていたのは拓務省でした。

この省は 1929 1942 に存在したのです。外地と言われた日本の植民地の統治事務・監督や南満州鉄道・東洋拓殖の業務監督、海外移民事務を行い、その後何回か組織を変えながら海外移住資料館に受け継がれたようです。

海外移住資料館の役割は国や地域で新しい文明づくりに参加してきた日本人移住者の歴史と、その子孫である日系人についてひろく理解を深めてもらうことを目的として現在の独立行政法人・国際協力機構・横浜国際センターとして活動を続けています。

その中で記録を保管管理することが私にとって大変な意味を持つのです。



開港と移住のはじまり

横浜開港は 1859 年 (安政 6 年)、海外移住は 100 年以上の歴史があります。多分その原点は横浜開港と同じ頃ではないかと思えます。最初は海外へ売られ派遣として始まりハワイ、カナダ、北米、南米へ広がっていったようです。横浜開港 50 年後の明治 41 年 (1908) に第 1 回ブラジル移民海外移住は始まったのです。

ペリー提督が浦賀に来港したのは嘉永 6 年 (1853)、横浜開港は安政 6 年 (1859)、明治維新は 1868 年、新橋・横浜間に日本最初の鉄道が開通したのは明治 5 年 (1872)、1914(始) - 1918(休戦)までは第一次世界大戦ですから、かなり古いようです。

横浜は海外移住の先駆け

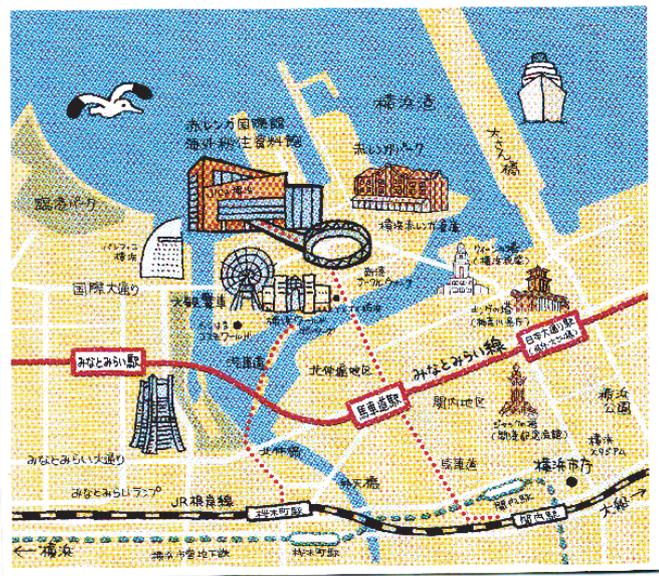
移住が始まると日本中が移住ブームとでも言いましょうか、次第に大きな流れになっていったのです。

10 月 JICA 横浜 海外移住資料館(横浜市中区新港)を訪れました。

この資料館は赤レンガ倉庫国際館 2 階にありました。

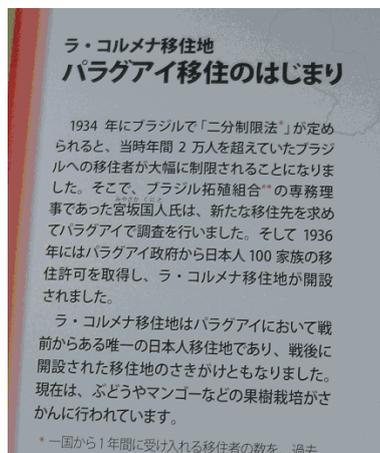


海外移住資料館周辺マップ



南米パラグアイ移住

遡って 2006 年 8 月テレビを見ていると横浜でパラグアイ移住展をやっている放送があったのです。翌 9 月息子がお父さん横浜でパラグアイ移住展やっているよ！と言うのです。わけは後で書くことにします。



2006 年 10 月
パラグアイ日本人
移住 70 周年記念
“パラグアイ展”で
撮影

移民原簿

私の父が生まれたのは明治時代です。物心の付いた小さい頃、両親の会話から南米で生活をしていたと言うのです！

どう言うことか幼い私には知る由もありません。神戸港からリオデジャネイロ丸に乗って約 1 ヶ月半後にパラグアイ（南米ブラジル南）まで父が行ったのは 1936 年 8 月でした。第 2 回パラグアイ移住団の輸送監督として、15 家族 115 名の移住者を引率しての南米行きでした。私が生まれたのは 1943 年ですから生まれる前の話です。

横浜では 1935 年復興記念横浜大博覧会（1923 年関東大震災）、1936 年は 2.26 事件発生、1937 年日中戦争が始まった頃です。



海外移住資料館 2F の図書資料室では海外移住に関する参考文献や資料を所蔵保管していると言うのです。

再度、海外移住資料館を訪れたのは明けて 2007 年 1 月でした。リオデジャネイロ丸に乗っていた移住者の記録（移民原簿）に輸送監督が父の名前であったときは嘖然としたと言うか、感激しました。そのことは知らずにいましたから！ 移住地記録の中にも父の名前が載っているのです。うれしかったですね！この時ほど歴史の大切さを感じた事はありません。父は拓務省の囑託としてパラグアイへ行ったのです。

第二次世界大戦以後の横浜と移住

- 1941 (昭和 16 年) 日米戦争はじまる。戦前はハワイ、カナダ、北米、南米に移住していたのですが戦争と共に南米のみに移住先が変わっていった。
- 1945 (昭和 20 年) 5 月横浜大空襲
- 1945 (昭和 20 年) 8 月終戦
- 1946 (昭和 31 年) 横浜移住幹旋所開所
- 1958 (昭和 33 年) 横浜開港 100 年記念祭開幕
- 1967 (昭和 39 年) 東海道新幹線開通、東京オリンピック開幕
- 1973 (昭和 48 年) 移住者輸送最終船につぼん丸が横浜を出航、以後航空機輸送に切り替わる。
- 1989 (平成元年) 横浜ベイブリッジ開通

終わりに

当時の移民による移住は日本人に生き甲斐と夢と希望を与えてくれた出来事であったと思うのです。いつの時代でも生き甲斐、情熱が必要なのではないのでしょうか！

一方敗戦が与えてくれた試練は計り知れないと思います。未だこの敗戦を淘汰出来ずにいる様々な人間模様もあることを忘れてはいけません。

振り返って歴史はどうであったか！考えて見ることは今後の創造、希望、夢を思い描くのに役立つと思います。

このイベントを契機として更なる明日、未来へ展望が開け、横浜が世界への拠点として発展進歩して大きな役割を果たすことを願っています。

横浜開港 150 年おめでとうございます。



平成21年秋の叙勲

中村 豊氏が瑞宝双光章

昨年の11月3日に、平成21年秋の叙勲の受章者が内閣府から発表され、神奈川県内からは旭日章で21人、瑞宝章で211人の232人が選ばれ受章した。

県がんセンター・厚木病院・循呼センターなどの県立病院放射線技師長としての功績と技師会活動での功績が認められ、中村豊氏(62)が瑞宝双光章を受章した。

診療放射線技師として長年活躍したその功績が認められ受章されたことは、大変喜ばしいことです。

受章、おめでとうございます。

元神奈川県放射線技師会会長、現日本放射線技師会理事を務めており、益々の活躍を期待したい。現在は(独)国立病院機構相模原病院臨床研究センターに勤務している。

第4回事務所将来計画委員会開催される

昨年10月13日に神奈川県放射線技師会第4回事務所将来計画委員会が開催された。

これまでの事務所購入経過を理解し、第4次中長期計画での答申を踏まえて、現在一般会計が健全であることを基本に、公益法人格取得準備の推進などを考慮して議論されている。

事務所が近い将来老朽化したときの対策や、事務所・会議室の現状を踏まえた検討が行われた。

委員会は議論が一定の方向性が見えたので、委員会としての答申を出すことが決まった。

中央社会保険医療協議会(中医協)委員に

北村善明(日本放射線技師会会長)氏を選任

長妻昭厚生労働大臣は、昨年の10月26日中央社会保険医療協議会(中医協)の委員会名簿30名を公表した。

協議会委員の代表区分は、次の4区分となっている。

- 1) 健康保険、船員保険及び国民健康保険の保険者並びに被保険者、事業主及び船舶所有者を代表する委員：7名
- 2) 医師、歯科医師及び薬剤師を代表する委員：7名
- 3) 公益を代表する委員：6名
- 4) 専門委員：10名

日放技会長の北村善明氏は専門委員として選任されたので、放射線診療の評価にその活躍を期待したい。他の専門委員としては、日本看護協会副会長の坂本すが氏、日本歯科大学教授の住友雅人氏等が選任された。

中医協委員の任期は、1期2年、最多で2回まで再任

が認められる(最長で3期6年)。

今回の発表は、診療側6人、支払側2人の委員が10月1日で任期切れになったことを受けたものであるが、民主党政権による長妻大臣は「医療再生というテーマに資する人を選んだ」として、日本医師会執行部の委員は外れ、京都府医師会副会長安達秀樹氏、茨城県医師会理事の鈴木邦彦氏、山形大医学部長の嘉山孝正氏を選任。

中医協会長には、遠藤久夫(学習院大学経済学部教授)氏が選任されている。

診療側の大御所である日医執行部が外れた事が話題になったが、民主党政権による医療行政の見直しが進められている。医療再生がやってくるのか。(p4に関連記事)

神奈川核医学研究会

40周年記念大会を開催

神奈川核医学研究会は1969年7月より活動を開始し、今年40周年を迎えた。代表幹事は廣野圭司氏である。

研究会は40周年の記念大会を企画し、11月14日(土)に横浜崎陽軒本店1号会議室にて「核医学の可能性—臨床現場からの提案—」をテーマとして40周年記念大会を開催した。核医学の臨床現場におけるポジションと役割の確認と共に、今後の発展と可能性を考える機会にしたとしてテーマが設けられている。記念大会長は桜田晃氏で、記念大会プログラムは次の通りであった。

[第1部]

1. 小野先生との思い出を語る

国立病院機構相模原病院臨床研究センター 中村 豊
東海大学名誉教授 鈴木 豊

2. SPECT / CTの現場より～保険請求の実際～

北里大学病院 菊池 敬

3. Ga-SPECTの汎用化を目指して

施設例 1 川崎市立川崎病院 小野 欽也

施設例 2 東海大学病院 神谷 陽

4. 核医学の可能性

横浜市立大学医学研究科放射線医学教授 井上登美夫
希望に満ちた「核医学の可能性」を、豊富なスライド画像を示して講演され、大喝采を受けた。

[第2部]

記念パーティー・忘年会

中村豊氏の叙勲受章報告と花束の贈呈や神奈核40周年記念大会「記念誌(CD)」発行報告、歴代研究会代表幹事の紹介、更に東京・埼玉・千葉からの代表者の紹介挨拶や、他にも多くの方から挨拶があり賑わった。

参加者は70名を越えた開催で、大盛会であった。

[編集後記]

神奈川放友会は3年目を迎えました。益々元気を出して頑張りますので、ご支援ください。

会員からの情報や投稿をお待ちしております。